



## オランダ国際球根協会ニュースレター VOL.004

梅雨明け。暑い夏がやってきました。この7月、オランダ国際球根協会（IBC）では、JFTA（日本花き球根輸出入協会）のみなさんとともに4日（土）～6日（月）の3日間、フラワーDream 2009に協賛、出展しました。ジャパンカップの競技やデモンストレーションへの花材提供、「第8回 Ms.Lily2009」の舞台設営、発表、撮影などなど、関係者の皆様のご協力とご来場に感謝いたします。ユリ月間となった7月、第4号もユリのニュースが満載です。

### CONTENTS

- フラワーDream 2009 in 東京ビッグサイト開催される【展示会】
- 来場者アンケートに見えること【アンケート】
- ユリの香りを抑える抑制剤を開発 【花き研究所】
- オランダの花き園芸業界 球根も苦戦中【オランダの話題1】
- オランダのミスターリリーが熱烈歓迎 【オランダの話題2】



### CONTENTS

#### フラワーDream 2009 in 東京ビッグサイトが開催されました

JFTD 主催の花文化発信イベント「フラワーDream 2009」が7月4日（土）から7月6日（月）の三日間、東京ビッグサイトにて行われました。

フラワーDream 2009

<http://www.jftd.or.jp/work/flowerdream.html>

JFTD

<http://www.jftd.or.jp/index.html>



オランダ国際球根協会（IBC）はユリ・プロモーション 2009 の一環として JFTA（日本花き球根輸出入協会）のみなさんと「日本のユリ」の展示を行いました。

前回のニュースレターでもお知らせしましたが、Ms. Lily2009 は、黒木メイサさんに決定しました。

授賞式インタビューでも声が枯れていてかわいそうな感じでしたが、「女信長」役を務めた舞台の直後だったそうです。当日は現在テレビ放送中のドラマ撮影があるそうで、すぐに会場を後にされ



ました。この数週間でもCDを発売したり、写真集を出されたり、雑誌の表紙になったり、まさに旬の女優さんです。Ms. Lily2009の受賞を皮切りに、今後の活躍を期待しています。

テーマになったユリはオリエンタル系の白「Mother White」とソフトピンク「Happy Pink」の2色。オリエンタルユリの代表的な色をテーマにしてさまざまなシーンで活用していただけるようにしています。

また、このMs. Lily2009で選ばれた同じテーマ、同じユリを10月から始まる花キューピットとの共催プロモーション、「Happy Mother to be」キャンペーンにつないでいきます。

「Happy Mother to be」キャンペーンは、聖母マリアに象徴される母性のシンボルであるユリを女性に贈ることにより、お母さんになることを夢見る女性、お母さんになるうとしている女性、可愛い赤ちゃんを胸に抱いた女性、今お母さんとしてがんばっている女性を応援しようというキャンペーンです。

授賞式の前には、オランダ王国駐日オランダ王国特命全権大使 フィリップ・ドゥ・ヘア氏からトロフィーが、また、JFTDの専務理事 遠藤 道氏からユリの花束が贈られました。花束は中家匠海氏が制作、ポスターの撮影用のブーケはジャパンカップ、現在のグランドチャンピオン中山佳巳氏(日本代表として2010年の上海でのワールドカップ大会に出場予定)が制作しました。

ドゥ・ヘア氏は、すべて日本語で挨拶されました。今年は日蘭通商400周年。昨年の外交関係開設150周年と合わせて記念すべき年となっています。お話の中で、「ユリほど日本とオランダの友好関係を表す花はほかにないのではないかと、これからも両国友好のシンボルとして大切にしていきたい」とおっしゃっていました。



フラワーリーム 2009 in 東京ビッグサイト 開催期間中、フラワーマーケットコーナーにて「日本のユリ」コーナーを出展しました。ハイブリッドグループ(AH、LA、OH、OT、LO) 珍しい品種(八重咲きや複色) 花粉のない品種などをカラフルに展示。平井カトリンさん(次写真)のデモンストレーションも人気でした。

できた作品はブース前に展示され多くの方が足を止めていました。



平井カトリンさんは、エストニア生まれのマスターフローリスト。03年に活動拠点を日本に移し、現在は、ご主人とともにお店を運営するフローリストとして小売りから撮影、デモなど幅広く活躍されています。今回とてもうれしかったことがあります。それは、ご主人の平井昭臣（あきひと）氏が今回のジャパンカップで優勝し、晴れて日本一のフローリストとなったことです。おめでとうございます！

JFTD サイト：ジャパンカップの結果など

<http://www.jftd.or.jp/topic/archives/128>



フラワードリームの会場で展示ブースのデザインや設営には金藤公夫さん（左写真）が担当しました。ミズ・リリーの記者会見用の背景、ポスター撮影用の背景装飾、また授賞式の舞台を飾った3メートルのユリの柱など大きな作品をつくりました。花材については、数多くの日本のユリ生産者の協力をいただきました。ありがとうございます。また、開花のためのスペースをお貸しいただいたり、輸送をお手伝いいただいた仲卸（株）大森花きの皆様を初めお手伝いいただいた皆さんにこころから感謝いたします。

Ms. Lily2009 のポスターは、現在製作中です。出来上がりましたら市場や各関係団体を通じて皆様のお手元に届くことと思います。店頭で「日本のユリ」の販売促進にぜひ活用していただきたいと思います。

## 来場者アンケートに見えること【アンケート】

今回、IBC と JFTA では、ブースに担当者をつけて、来場された方々に、ユリについてのアンケートを取らせていただきました。

お客様の仕事分野、ご自身が好きな品種とお客様が好まれる品種のこと、ご用途、店舗での鮮度管理、ユリを選ぶ場合に重視するポイント、一本の茎につく花の輪数はどのくらいが使いやすいか、ユリのよいところと使いにくいところ、好きなタイプ（系統） これからの開発に期待することなどを選択とコメント方式で聞きました。シートに記入していただいた数は63。



依然としてカサブランカの認知度は抜群で、ほかの品種の認知度が上がらない。ユリのよいところと使いづらいと思うポイントが同じ。花店は花の向きが互い違いになっている使いづらさを指摘。デザイナーはその点はクリアしているが、香りの強さ、花粉、ボリューム（大きすぎ）を苦手としている。一般はボリュームと日持ちを重視する傾向がある。

鮮度管理にキーパー、ストッカーを利用するところが多いとは言えない。また使っている所でも5～9 前後の温度より、10～16 あたりの標準的な温度で管理しているところが多い。

開発に期待するものとしては、今までにない色、形、を希望する人が多い。ピンクと白にかたよったユリのイメージが定着している。小輪、八重、濃い紫などダークな色目、緑色などユリのイメージを変えるような多様性が欲しい。

展示されていた八重の大輪品種や、緑色の「グリーンリアルプ」（左写真）などは、たくさんの方が注目していた。個性的な種類を求める声も少なくない。

花弁の傷つきにくさ、花粉のない種類や香りの少ないタイプを希望する人はデザイナーや婚礼関係に多い。

6月25日の日経新聞43面、日本農業新聞16面に「ユリの香りを抑制」という記事が載り、その後読売新聞などの新聞やネットサイトなどでも数多く取り上げられました。ユリの販売に大きく影響を与えそうです。

### ユリの香りを抑える抑制剤を開発 【花き研究所】



つくばにある農研機構・花き研究所は、開花前のユリの切り花に薬液を吸わせることで、開花中の香りを抑える方法を開発したことを発表しました。

花き研究所のプレスリリース

<http://flower.naro.affrc.go.jp/press/20090624/lily20090624.html>

- ・開花前のユリ切り花を香り抑制剤に生けるだけで香りを抑えます。
- ・香りを抑えるだけで、花や葉をいためることはありません。
- ・香り抑制効果は、開花中続きます。

花の香りの正体は、芳香族化合物とテルペノイドなど。

このうち、芳香族化合物の生成を抑制する「フェニルアラニン・アンモニア・

リアーゼ阻害剤」の効果を検討した

テルペノイドの生成も抑制することがあきらかになった。

ユリの香り成分の大部分をこの両者が構成しているために、つぼみの状態の花をこの薬剤の水溶液で処理することで、香りを全体的に抑えることができる。つぼみ状態のユリを適度に希釈した香り抑制剤（フェニルアラニン・アンモニア・リアーゼ阻害剤水溶液）にいけるだけ。

1日後に咲いた花の香り成分は、水にいけた場合の8分の1程度になっていた。開花状態では、すでに香り成分が生成されているためつぼみの状態で処理することが大切。

処理時間が長いほど、香り抑制効果は確実になる。

以上がプレスリリースや新聞などで報道された主な内容です。ユリの魅力のひとつに香りがありますが、オリエンタル系のユリの強い香りがユリを敬遠する理由の一つにあげられているのが現状です。レストランや宴会・婚礼会場などでは料理のにおいを楽しめないということで使われる場所を限定されています。数多くのメディアでこのニュースが取り上げられたことでも一般の人々の関心の高さがうかがえます。

この新しい技術について詳しく話を聞き、実用化が進むのであれば、より多くの生産者・流通関係者が低コストで活用できるようにとJFTA日本花き球根輸出協会でもリサーチに動き出しています。今後の動きに注目が集まります。

JFTA 中村祐司代表による報告：(株)中村農園 HP の記事

[http://www.nfb.co.jp/kyukon\\_file/n20090713\\_4.htm](http://www.nfb.co.jp/kyukon_file/n20090713_4.htm)

こんどは、オランダの話題です。グローバルな経済の低迷がオランダの生産者にも大きな影を落としています。

### **オランダの花き園芸業界 球根も苦戦中（09年5月14日）【オランダのあまりよくない話題】**

球根業界も花き園芸全体同様 苦戦を強いられています。

オランダ王国樹木と球根生産者の組合団体であるアントス代表のヘンク・ウェスターホフ氏によると、フローラホランド花市場も今年10%の取引高減少を予測。今年最初の4半期の切り花の取引高はすでに16%減少という数字を出しています。

昨年秋の段階で、輸出減少5～10%という予想はしていました。全体の傾向として、どの国を見てもマイナス傾向。小売店でも、消費者の花の買い控え状況の動きがつかめずにおり、このままでは秋シーズンの予測もたてられない。しかし、ガーデンセンターでの売り上げは良好であることから、消費者は花壇苗や樹木、球根類への興味を全く失ってはいるわけではないと思われます。

市場の予測が立てにくいことから、単価への圧力がかかってくる。球根切り花生産者は、高い球根を購入しづらくなってきている上、コスト高とそれに反比例する売り上げの減少という現象に落ち入っており、今やオーバープロダクションとい

う状況になりつつあります。

現在、海外市場の見直しが進められていますが、アメリカ、英国、日本などの外貨為替が問題となっている国が行く手を遮っている上に、他に新たな市場となる国の候補もありません。ユリに関しては、昨シーズンは約 20～30%生産過剰という状況であったため、作付面積の減少が予想されています。チューリップの動向は不明です。

オランダ球根協会(KAVB)代表のシャーク・ランゲスラッフ氏も、市場の需要より供給量が多い現状で、球根業界の現状は明るいものではないと認めています。その一因に、南アメリカのような海外での生産増加があるといわれています。

(オランダの業界紙のニュースから)

悪い話ばかりではない、オランダではプロモーションにさまざまな取り組みをしているようです。楽しい話題。

### 「ミスター・リリー」？ 人気歌手パウワ-氏の登場に大興奮 【オランダの楽しい話題】



オランダのごく普通の主婦 リダ・リートフェルトさん(写真の右の方)にとって、2009年の母の日は忘れられないものとなりました。オランダの国民的人気歌手、フランス・パウワ-氏が、特別に、彼女のためだけに、なんと自宅まで「プライベートコンサート」をしにやって来たのです。

この特別コンサート、オランダ花卉協会の提供で、全国的なキャンペーン「花は幸せを運ぶ」の一環として行われました。母の日用にフローリスト、花小売店でブーケを購入した人全員が、キャンペーンくじのカードがもらえ、母の日の前日に公証人立ち会いの元の選考会で、リートフェルト一家がこの特別コンサートのラッキーな当選者として選ばれました。

瞬く間に一家の住むストリートは集まったファンで大混雑。パウワ-氏のスペシャル・パフォーマンスが終わった後には、集まった多数の「母親」達にパウワ-氏から直接ブーケのプレゼントまで手渡されました。

このイベント、母の日用の花の需要に今一つのインパクトを与えるため、今年、オランダ花卉協会で行った企画ですが、近日中にフローリスト 100 店、消費者 200 人にアンケートを取り、成果のほどを報告することになっています。

今までには オランダだけでなく、ドイツやイギリスでも同様のキャンペーンが行われたことがあります。花卉協会ならびにフランス・パウワ-氏も、このキャンペーンが来年も行われるようにと希望しているとか。

(オランダの業界紙のニュースから)

第 4 号をお届けしました。ユリの香り抑制技術、気になります。暑さに負けずに、また、来月。

オランダ国際球根協会ニュースレター第 004 号 発行：オランダ国際球根協会

HP：<http://www.kyukon.org/> メールアドレス：[ibc@aurorajp.com](mailto:ibc@aurorajp.com)